

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

アイジー工業株式会社

東根市にあるアイジー工業株式会社の若手社員、奥山千尋さんを取材しました！
奥山さんは、福島県にある日本大学工学部を卒業した後、2014年に入社しました。
現在は、研究開発部機能開発チームで勤務しています。

(1) 仕事内容編

———現在のお仕事の内容を教えてください。

私が所属しているのは研究開発部という新しい商品を研究・開発するところです。研究開発部の中にもいくつか部署があって、私が所属する「機能開発チーム」は、大まかにいうと、商品を新しく作るうとしたときにどうやったら実現できるかを考えるチームです。

実際に建物を建てるとなると、防耐火性能・耐風圧性能などが建築基準法に則っているか検証しなければなりません。また、工法を考えたり、各種材料の機能性向上を検証・検討したり、そういうことを研究する部署です。

その中でも私はサイディングとルーフに使われている断熱材を担当しています。（サンプルを見せながら）この黄色い部分ですね。



———軽いですね！

そうなんです。この商品は軽いのを売りにしていて、金属とポリイソシアヌレートフォームで作っています。

このポリイソシアヌレートフォームが断熱材として機能しており、見た目は何十年も変わりませんが中身（素材）は時代に合わせて変えていっています。例えば最近だと、フロンを使っていた商品を、環境に合わせてノンフロンに切り替えたんですが、その量産設計を担当しました。

作り方を変えても、性能が変わらないようにするというのが大変なんです。物が変わると性質が変わるので、それを良い方向に持って行くために試行錯誤したという思い出がありますね。

———**本社は東根市ですが、朝日町開発センターでの仕事が多いんですか。**

朝日町開発センターでは、販売に向けて製品の機能や性能の試験をしています。やっぱり実際の環境で使えるかということが一番大切なので。

ただ、ずっと朝日町で仕事をしているわけではなくて、業務の目的に合わせて移動していく感じですね。研究開発部で「この商品はいつ上市する」という事が決まっているので、それに合わせて自分でスケジュールを立てて動いています。

今日も、朝に東根市の本社に行って打ち合わせして、その後に朝日町に来ました製品の生産テストがあると寒河江工場に行ったり、場合によっては茨城県にある水戸工場に行ったりもします。



———**開発の仕事をしていて大変なことはありますか。**

当社の製造ラインはすべて社内で設計しているので、生産性を上げることを考えつつ、例えば「商品は水漏れしないつくりになっているか」「周りの部材に配慮した設計ができていないか」なども並行して考えなければならないんです。つまり、安定して毎日生産できることと、商品の性能がきちんと出るようにすることを両立しなければなりません。

研究開発部の私たちは「これでいける!」と思って新商品を出すんですけど、製造担当は毎日製造ラインの様子を見ている中でいろいろ考えがあるんですね。私たちも量産を考えて設計はしますが、「やっぱりこうしたらどうだ」というやり取りは毎日しています。相談しながら、良くしていくという感じですね。

あとは、既存製品の新色を追加するというだけでも、特許の確認や鋼板性能による製造設備への影響の検証等、やるべきことがたくさんできます。作ってから問題があったら大変ですから、後戻りのない開発を心がけていますね。



(2) 職場編

——どうしてアイジー工業に入社したんですか。

山形に帰ってきたかったからです。それで調べたときに、「日本一の会社があるじゃん」と(笑)。日本一なのってサクランボだけじゃないんだって(笑)。

東根市出身なので、アイジー工業の大きな看板を見たことがあって、「あの会社は何だろうな」と子どもの頃に思っていたこともあって受けましたね。



——山形に帰ってきたかったのは、なにか理由があるんですか。

家族や友人がいるというのが大きかったですね。他の地域で働くのもいいんですけど、何かあったときにすぐ助けてもらえるので。あと、ラクしたかった(笑)というのが大きかったですね。実家にいればお母さんのご飯が出てくるというのは本当にありがたいです！

——大学では、この仕事に関わる勉強をしてきたんですか。



私は理系出身ですが、大学では無機化学をやっていました。当社で扱う樹脂は有機化学の分野なのですが…簡単にいうと燃えたら炭になるのが有機物です。私は、有機化学はでんでダメで(笑)。

素材メーカーさんとのやり取りでも知識がないと答えられなくて…また、作業の進め方は経験しないと身につかないので、経験を積みながら勉強していきました。

——勉強はどのようにしていったのですか。

仕事の中で時間を作って勉強したり、打ち合わせの中で聞いたりして。わからないことを聞くと、皆喜んで教えてくれます。若手の特権です（笑）。私は一度、外部に研修に行かせてもらったので、そこで勉強することもできました。樹脂メーカーさんに、出向というかたちで受け入れていただき、基礎を学びました。

また、若手勉強会というものもやっています。30歳までの人達が、先輩から技術を教わったり、施工を体験したりしますね。自分の部署だけでなく、他の部署の仕事をわかったうえで働けるようにすることも大切です。勉強も仕事のうちです。

——色々な部署の仕事を知らないといけないお仕事なんですね。

そうですね。建築関係の法律ですとか、製造ラインの状況ですとか。ホントは私、機械めちゃくちゃ苦手なんですけど…それも経験を積んでなんとかやっています。あとは、とてもアクティブな仕事でもありますね。ラインとラインの間を動き回っているので、1日1万歩超えることもあります。もうずっと歩いていますね。

当社の女性陣はアクティブですよ。2トントラックや高所作業車もたまに運転しますからね。入社すると、フォークリフトとか必要な資格は取らせてくれるんですよ。

——入社してから、取った資格はどのようなものがありますか

フォークリフトと玉掛と、床上操作式クレーンです。他にも、仕事に必要なものとして資格を持っている人はたくさんいます。電気工事士とか危険物取扱者とか…いろいろあるんですよ。



(3) ある日の過ごし方編

● 8:00 【出社】 @朝日町開発センター

出社後は作業着に着替え、業務開始の準備をします。



● 8:30 【評価業務】

朝一のメールチェック後、場内へ移動し、テスト品のサンプル切り出しや測定作業を行います。

担当するのは断熱材として用いる「樹脂」の評価です。機能性や環境性能、品質の安定性向上を目指した改良を日々模索しています。基本の流れは、「テスト生産→生産品評価→打ち合わせ・改善」です。



● 12:00 【お昼休憩】

事務所に戻り、自前のお弁当を食べます。わいわい盛り上がった後は、各々時間を過ごし、午後の仕事に備えます。

● 13:00 【評価業務再開】

午後の続きから業務を開始します。

テスト生産のタイミングや評価の締め切り時期によっては業務が立て込んでしまうときもあります。



● 16:00 【データ入力、分析】

PCに向かい、データの入力と分析を行います。

● 17:30 【退勤】

作業着を着替え、帰宅します。

お家でのマイブームはYouTubeを見ながらする筋トレです！インドア派なので、ステイホームも楽しく過ごしています。時折、友人とご飯に出かけることもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——山形での暮らしについてお聞きします。福島から帰ってきていかがですか。

山形はご飯がおいしいですね。福島もおいしいんですけど、山形のほうが食べ慣れているというのがあって。

ラーメンも好きです(笑)。私はめちゃくちゃ辛いものが好きなので、山形駅前にある「らーめんぬーぼう」の「赤爆中華」をよく食べます。



——お休みの日は何をされているんですか？

YouTube を見たり、犬の散歩をしています。よく行くのは村山の東沢公園ですね。犬の散歩によく行きます。

——この会社で働いていてよかったことはありますか？

やっぱり山形の人が多いことですかね。優しい人が多いですね。仕事で困っているとすぐ「手伝おうか？」と声を掛けてくれますからね。アットホームな感じといいますか……アットホームというとブラック企業っぽく聞こえますけどね(笑)。でも本当に温かい人が多いです。東京営業所に出張したときに山形弁が通じて本当に安心しましたね(笑)。

——会社の雰囲気はどんな感じですか。

雰囲気はいいと思います。話好きな人だけじゃなくて、そうでない人もたくさんいますけど、お互いうまくやっている感じです。今は時期的にないんですけど、飲み会のときは普段あまり喋らない人もめっちゃ喋ります(笑)。研究開発部でも普段は年4回飲み会があります。幹事はくじ引きで決めるんですよ(笑)。

あと、社長との距離が近いのもこの会社のいいところです。話しかけにくいというのではなくて、気さくな方ですね。

———ありがとうございました！

アイジー工業は、とても社内の雰囲気がいいことがわかりました。我々の質問にもフランクに答えていただき、終始楽しくインタビューができました。私もこういう会社で働いてみたいと思いました。奥山さん、本当にありがとうございました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 小野誠司・後藤愛・草木啓汰】

アイジー工業株式会社

弊社は主に建築用断熱外壁材（金属サイディング・金属サンドイッチパネル）及び金属屋根材の研究開発、製造、販売を行っています。

「わたしたちは、ニッポンの建物を強く、優しく、美しく包みます。」を企業理念とし、まっすぐな姿勢で、自分たちのオリジナル製品を全国へ発信しています。

★日本弁理士会会長賞、「SF-ビレクト」グッドデザイン賞、緑化優良工場等東北経済産業局長表彰（寒河江工場）、HEAD ベストセレクション賞、山形県環境保全推進賞等を受賞、ISO9001・ISO14001 認証取得（全事業所）

- ・所在地 山形県東根市蟹沢上縄目 1816-12
- ・設立 昭和 45 年 4 月
- ・従業員数 385 名（男性 317 名、女性 68 名）
- ・URL <https://www.igkogyo.co.jp/index.html>

